

## 2013（平成25）年度下半期活動報告

愛知大学国文学会

会長 黒柳 孝夫

幹事 和田 明美

愛知大学国文学会は、愛知大学日本語日本文学関係（文学部・短期大学部所属）の教員、昭和25（1950）年文学部文学科国文学専攻時代からの卒業生と現在の日本語日本文学専攻の在學生によって構成された伝統ある学会です。学会誌『愛知大学 国文学』は学術雑誌に認定され、年1回の刊行で2013年度には53号を数えます。この学術雑誌は全国200を超える大学や研究機関（韓国含む）にも送付しており、公的な教育研究機関が相互に交流を図りつつ学術文化の発展に寄与しています。また、毎年6月に開催される学会は、卒業生（80代～20代）や在學生参加はもちろんのこと広く一般にも公開しており、恒常的に地域に根差した講座等の活動にも力を入れています。

### ◇平成25（2013）年度下半期活動報告

(1) 『愛知大学 国文学』第53号の発行（2014年2月20日）。

- ・『源氏物語』における光源氏の教育観  
— 「教ふ」を手かがりにして— 酒井貴大
- ・〈生きた人形〉あるいは〈犬〉のような少女  
— 川端康成「片腕」とリラダン『未来のイブ』— 藤井貴志
- ・群集に潜む〈魔王〉— 伊坂幸太郎『魔王』をめぐって— 鈴木温子

五  
〇

- ・「非動作性名詞＋スル」の語構成 古澤純
- ・彙報

(2) 『愛知大学 国文学』第53号の送付（2014年3月末に受贈関係にある全国の大学と研究機関・韓国教育研究機関へ順次発送）。

(3) 新たな市民教養講座開催に向けての協議（2014年3月21日岡崎市図書館交流プラザ・りぶら、「古文の会」代表者と愛知大学国文学会幹事ら出席）。

## 障害学研究会 2013年度下半期活動状況

これまで本研究会は、さまざまな障害当事者による運動・活動について考察を深めてきたが、今回は比較的新しい団体である「ADF（愛知障害フォーラム）」に注目した。

ADFは2008年に愛知県内の26の障害者団体が集まって結成された、障害者の諸権利の実現と、愛知県内の障害者施策を推進することを目的とする団体である。ADF事務局長の辻直哉氏と事務局員の木下努氏に講師を依頼し、2014年3月29日、愛知大学車道校舎（K1004ゼミ室）にてワークショップを開催した。

はじめに、ADF設立の経過について述べられた。きっかけは2008年2月の「JDF 地域フォーラム in 東海」であり、同年8月に設立総会が開催された。これまで活動を共にすることが少なかった団体が結集した背景には、2003年に千葉県差別禁止条例が施行されたこと、2006年に国連において障害者権利条約が採択されたこと、条約や条例等が比較的多くの人に受け入れられやすく、地域で条例を制定しようという機運が高まったことが挙げられるという。またAJU自立の家等が、全国組織であるDPI日本会議やJDF（日本障害フォーラム）との関係を有していたこともある。

しかし当時の政争に巻き込まれた等の理由により、現在に至るまで条例は成立していない。ADFとしては今後、まず名古屋市における条例制定を目指し、2013年10月に行った「あいち TRY 2013」のように、市民に条例の必要性をわかりやすく訴える運動を行っていくという。

最後にADFの成果として、障害種別を越えた活動を行ってきたこと、それにより県から認められる団体へと成長したこと、またさまざまな行政審議会の委員を送り出していることが挙げられた。この団体によって

愛知県の障害者差別禁止条例策定に取り組んでいけるという見通しをもてたことこそが、これまでの成果であるとまとめられた。

現在、愛知県における障害者施策への ADF の影響は少なからずあるように思われる。今後の活動展開が注目される。

(以上)

## 2013年度下半期活動報告 心理学談話会

### 活動の目的

人間に関する科学は、一領域一分野で人間全体を把握することは不可能である。全体としての人間を知るには、心理学各領域および隣接諸科学との交流が必要となってくる。本会是这样した心理学および隣接諸科学の研究者たちとの学問交流による、人間理解の深化を目的とするものである。

### 年間の活動計画

心理学談話会は年8回の開催を基本とする。うち6回は本学心理学コースの教員6名が1回ずつ研究発表を行い、他の2回は学外の研究者を招いて行う。8回中3回は一般公開とする。また、心理学談話会で発表した内容は原則として文学論叢に投稿することとしている。

### 2013年度下半期（2013.10.1～2014.3.31）の活動状況

2013年度の後半は以下の3回を開催した。

第4回 2013年11月3日（日）「災害時のリスク認知と対処－東日本大震災を踏まえて－」講師：樋口義治（文学部教授）於：愛知大学名古屋キャンパス

第5回 2013年12月23日（月）「『声まね』能力を題材とした比較・生理心理学」講師：関 義正（東京大学進化認知科学研究センター）於：愛知大学豊橋キャンパス

第6回 2014年3月1日（土）「ことばと行動：言語の起源」講師：浅野俊夫（文学部教授）於：愛知大学豊橋キャンパス

## 言語学談話会 活動報告

### 1. 公開講座「言語」

会場はいずれも愛知大学車道校舎本館第3会議室

2013年

① 10月5日（土）

「言葉の意味を考える --- 話者とその解釈態度 ---」

山本雅子（愛知大学国際コミュニケーション学部教授）

② 11月9日（土）

「クレイグ先生逸聞拾遺」

葛谷登（愛知大学経済学部教授）

③ 12月7日（土）

「『冠詞』とは何か --- 伝統文法から現代言語学へ ---」

稲垣昭（名古屋外国語大学名誉教授）

2014年

④ 1月11日（土）

「言語における『表現』について考える」

高橋秀雄（愛知大学名誉教授）

四五

### 2. 公開講座「聖書・ヘブライ語を学ぶ会」

講師：川口誠（日本聖書翻訳研究会会員、牧師）

2013年10月12日より2014年3月29日まで、冬期休暇期間および入試時を除き毎週土曜日に開催。

会場：愛知大学豊橋校舎研究館第4会議室。

研究会活動報告

3. 公開講座「旧約聖書の創世記12～50章を音読する集い」

講師：川口誠（日本聖書翻訳研究会会員、牧師）

2013年10月12日より2014年3月22日まで、冬期休暇期間および入試時を除き隔週土曜日に開催。

会場：愛知大学豊橋校舎研究館第4会議室。